

事業評価シート（平成25年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	市民病院整備事業		
事業担当	市民病院 改築推進室		
事業種類	●ハード ○ソフト		
総合計画の位置付け	'05	基本目標5 安全で、みんなが快適に暮らせるまち	
	'03	③〈利便性〉誰もが快適に利用できるよう、公共施設などの利便性を高める	
	'01	1 安全で快適に利用できる公共施設の充実を図る	
根拠法令等			
対象・受益者	患者、来院者、職員	事業期間	～ 平成28年度
委託、協働	【委託： 3セク・財団 ○企業 NPO その他】【協働： 】		
	目的・目標		事業の概要
市民病院を再整備することにより、病院機能の拡充が図られています。		利用者に対して安全な医療サービスを提供するため、市民病院の改築を推進します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度		
	目標						
	実績						
活動指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度		
	目標						
	実績						
成果指標①	指標名	市民病院整備進捗率				単位	%
	説明・算定式	平成28年度を100%とした市民病院整備進捗率。H24まで:60%、H25:建設10%、H26:建設10%、H27:建設、北棟改修10%、H28:北棟改修、南棟解体、外構整備10%					
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度		
	目標	50	60	70	80		
	実績	40	60	65			
成果指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度		
	目標						
	実績						
進捗状況	①：予定どおり						
	遅れている理由						
平成25年度の主な取組と成果							
既存棟(管理棟・救急棟・保育所)解体工事や仮設バスロータリー工事が完了しました。また、新棟建築工事(建築・電気・機械)を契約し工事に着手しました。							
平成25年度の検証結果	A：成果があがった						

項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価	
事業分析	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	地域医療を支える基幹病院として救命救急を含めた高度医療の提供と、災害拠点病院として耐震性の高い建築が必要であり、それらへ市の関与は無くしてはなりません。	● 高 ○ 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	新棟の建設にともない、新たな病院機能の設置による高度医療の提供、高い耐震性の獲得による災害拠点病院としての能力の向上に有効です。	● 高 ○ 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	耐震性の低い南棟の長期使用は、管理者責任を果たしていません。基幹病院として、災害医療拠点として安心安全な病院が必要であることから妥当と考えます。	● 高 ○ 中 ○ 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	民間病院建設コストと比べて、公立病院建設コストは割高です。研究は必要ですが、民間の設計思想、契約方法等は公立と大きな違いがあるため、安易に真似ることはできません。	○ 高 ● 中 ○ 低
今後に向けた課題の分析 引き続き、耐震性に問題がある南棟の平成28年度使用停止及び解体を目指し、新たな病院機能を設置した新棟建築を進めます。新棟建築においては、病院機能を低下させず着実に施工を進めていくことが課題です。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成23年度 決算額	平成24年度 決算額	平成25年度 決算額	平成26年度 予算額
事業内容		実施設計、オイルタンク等移設工事	建設	建設	建設
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	22,188	370,000
	起債	54,400	301,600	421,300	2,877,400
	その他 特財	0	0	1,512	0
	一般財源	86,889	77,446	83,326	114,856
事業費 (A)		141,289	379,046	528,326	3,362,256
執行率 (%)		36.95	70.24	48.66	
内訳	職員 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00
	人件費 (B)	0	0	0	0
フルコスト (A+B)		141,289	379,046	528,326	3,362,256

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成27年度の取組方針 新棟への機能移転や北棟改修では、既存病院機能を低下させない方法を取り、着実に進めます。
課長コメント 本事業は、耐震性に問題がある南棟に替る新棟等を整備するもので、早期の実現を目指します。